



ユネスコエコパークに登録された、静岡市井川と川根本町の魅力を伝える、地域でつくる新聞

井川と川根をつなぐ

いかわね新聞

No.2

おかえりの夏まつり



いかわ

毎年8月15日に井川夏祭り(①③④)、26日に田代の二十六夜祭(②)が行われます。どちらも地元の方々に支えられ井川に関わる多くの方に親しまれています。

地元の方は勿論、帰省した懐かしい顔ぶれ、井川を仕事場としている方など、皆で一緒に井川の時を過ごします。

「たたいまー」と思わず口にしたくなる昔懐かしいほっこりとした雰囲気は、「おかえり。待っていたよ。」と優しく温かな言葉を誰もの心にそっと返してくれるのです。

心の故郷がここにあると感じる井川の夏のひとときです。

いかわね新聞 第2号 2015年11月1日発行(年3回発行)
発行・南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会
〒420-8602 静岡市葵区追手町5の1 静岡市環境創造課内
TEL 054(221)1357

〔会員 静岡森林管理署、天竜森林管理署、静岡県、静岡市、川根本町、(株)特選東海フーズ、中部電力(株)静岡支店、しずてつジャストライン(株)、川根本町森林レクリエーション推進協議会、自然公園推進員、井川観光協会、川根本町まちづくり観光協会、南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会、川根本町エコツーリズムネットワーク〕

〔会の紹介 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺地域の自然環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な活用を推進することを目的とした協議会です。※この新聞では、川根本町の情報を「いかわ」と表記しています。〕



「小学生の頃プロレスごっこでよくキラカーン(悪役レスラー)役になって、同級生からきられて呼ばれるようになったんだ。」とキラキラ輝く笑顔と持ち前の明るさで周りの人をも笑顔にしてみたいという気持ちで、お祭りに皆と一緒に楽しむという気持ちで参加している一人。お祭りが続けられるの寂しげな傍ら、「この祭りでは井川に来て井川のいいところを知ってもらえれば!人と井川が繋がると笑顔が炸裂する。」と笑顔が炸裂する。

この笑顔が、故郷への思いが、お祭りを作っている。きらさんだけでなく、このお祭りに詰まった想いに繋がった時、きつこの温かさは感じられる。是非来年も多くの人に繋がって欲しい!

文・写真 三木友美子

どこか昔懐かしくほっこりとした雰囲気でお祭りを飾る「いかわね」の夏祭り。この温もりは山里という場が生み出している。そんな事ある訳がないのに。人手の少ないなか何年も続く行事。人が集まってくる場所。こんなにも温かく笑顔で溢れるお祭りなのは、人々の故郷への思いが詰まっているから。そこにいる人なのだ。井川夏祭りに携わる皆さんもそう感じさせてくれた人の一人。

いかわねの人々

Vol.2 中村 晃さん (井川)

「そのきらさんも夏祭りを楽しみにしている一人。仲間達とお祭りの準備。片付けに積極的に携わる姿から、お祭りで皆と一緒に楽しむという気持ちで参加している。」

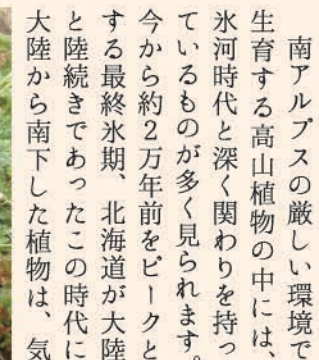
「井川には若手が少なくなってきた。」といつまでお祭りが続けられるのかと寂しげな傍ら、「この祭りでは井川に来て井川のいいところを知ってもらえれば!人と井川が繋がると笑顔が炸裂する。」と笑顔が炸裂する。



タカネマンテマ



チヨウノスケソウ



キタダケソウ

南アルプスの高山植物

エコパークに登録された南アルプスを見てみよう!

南アルプスの厳しい環境で生育する高山植物の中には、氷河時代と深く関わりを持っているものが多く見られます。今から約2万年前をピークとする最終氷期、北海道が大陸と陸続きであったこの時代に大陸から南下した植物は、気温が上がる中で高緯度地方や標高の高いところに生育場所を移動し、現在は高山の山頂域などに孤立して分布しています。南アルプスには、こうした「氷河期の遺存種(いそんしゅこ)と呼ばれる貴重な高山植物が生息しており、キタダケソウやタカネマンテマなど、固有種やその生育の世界の南限となる植物もいます。現在問題となっている地球温暖化が進むと、高山植物は逃げ場を失い、絶滅する可能性があります。私たちの南アルプスを守るため、ひとりひとりが地球にやさしい生活を心がけましょう!

イベントカレンダー 2015年11月~

11月	1日 SUN	いかわ	産業文化祭
	7日 SAT	いかわ	奥大井ふるさと祭り(予備日8日)
	8日 SUN	いかわ	収穫祭 芋いもパーティー
	14日 SAT	いかわ	奥大井接岨湖もみじまつり
12月	6-7日 SUN/MON	いかわ	寸又峡温泉感謝祭
	11日 FRI	いかわ	青葉観光キャラバン
1月	6日 WED	いかわ	中野観音堂 お籠り
	16日 SAT	いかわ	梅津神楽
	17日 SUN	いかわ	リバウエル井川スキー場 感謝祭
2月	14日 SUN	いかわ	リバウエル井川スキー場 雪まつり

※予定は変更される場合があります。詳しくは下記までお気軽にお問合せください。

いかわ 井川観光協会 ☎054-260-2377

いかわ 川根本町まちづくり観光協会 ☎0547-59-2746

かわね

お盆の時期に町内各地で繰り広げられる夏まつり。故郷を離れて暮らす人たちが、家族や友人たちとの久しぶりの再会を楽しむ姿があらわらこちらで見られます。

その裏側では「伝統行事を守りたい、みんなが集う場所を作りたい」という思いを持ってお祭りを盛り上げる地元の人たちの存在も欠かせません。

「たたいま」と帰る場所があって、「おかえり」と迎えてくれる人がいる。いつまでも守ってきたい川根の夏の風物詩です。

①まつりのフィナーレを飾った手筒花火(やっちゃん祭)
②甚平を着てまつりを楽しむ子ども(徳山の盆踊り)
③勇姿に舞う鹿(徳山の盆踊り)
④故郷での再会を喜ぶ若者たち(徳山の盆踊り)
⑤大井川川敷で盆の送り火を焚く(百八たい)

いかわ町流 秋冬のたのしみ方

今回は「地元ならではの秋冬の楽しみ方」特集!
いかわとかわね、それぞれの遊び方を探ってみよう!

いかわ

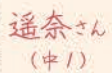
中学生流のたのしみ



毎年11月3日に井川神社でダム祭りが行われます。そこでは農作物の品評会やおみこしかつぎなどをやっているよ。その中でも神楽は小学生から大人まで参加してとてもきれいに舞われているんだよ。ぜひ見に来てください!!



秋の味覚には、柿、梨、秋刀魚などおいしいものがたくさんありますよ。特に舞茸は、たくさんとれて、食べ方もいろいろあるし、香りもいいきのこだよ。この食欲の秋は、きのこを食べに来てください。



井

川地区は秋になるととてもきれいなになります。学校の通学路には、もみじやいちやうなど色とりどりの紅葉でいっぱいになります。それを見ながらうきうきした気分が学校へ行けるんです。いちやうが散っても黄色いじゆうたんがきれいなんですよ。



冬にはとてもたくさん雪が降りました。そこで、妹といっしょに雪だるまの「オラフ」をつくって遊びました。井川の緑の自然も大好きだけど、雪で真っ白になった自然はキラキラしていてとってもきれいなので、もっと大好きです。

井川のこんにやくは作り手によって実に様々。10月頃から収穫が始まり寒さで芋が痛む前には芋を冷凍し、その年の芋が無くなるまで作られる。芋は井川産のものを、皮は剥かずよく洗い、薬が刺さるくらいまで蒸すのが目安。形は小ぶりの丸だったりおでんに用い四角だったり。水の量も芋1kgに対して4ℓときちんと量る人もいれば、芋によって固さを見なが



ら感覚で足していくから量らないよ、と笑う人も。作りたては好みに味噌や醤油を付けてさしみで食べる事が多いが、煮物や白和えも美味しいとの事。作るのに手間はかかるが手作りを楽しみにしてくれるお客さんがいるから、ぼちぼちでも作っていくよ、と話してくれた。こんにやくはいつでも買えるわけではないので、見つけたらその店のこだわりを尋ねながらぜひ食べ比べをしてみたい。アルプスの里やじんきち、やまびこ等で購入可能。

かわね

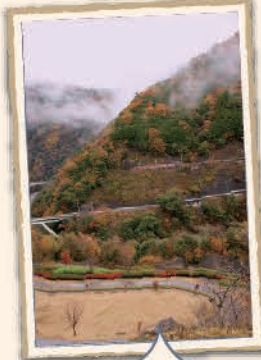
里時間のたのしみ



春に植え、夏に収穫・乾燥させておいた草花で、秋冬にドライフラワーアレンジを作ります。唐辛子やトウモロコシ、木の実など身近な素材を使えるのが魅力です。小学校で出前教室も行っています。体験を通じて、自然を身近に感じてもらえると嬉しいです。

秋

になると景色の変化に敏感になります。木や葉っぱの色づきも一日一日が違います!! 長島ダムふれあい館のベンチに座って、ぼんやりと眺める風景が気に入ります。紅葉とトロッコ列車のコントラストが映えます。実は誰にも教えたくない場所なんですけどね。



今年は自然薯を2800本植えまわした。毎年12月末までは収穫と出荷で大忙しです。川根自然薯の特徴はネバリと香り。他のところのものとは比べ物になりません!! 11月29日には川根本町エコトリウムネットワークのプログラムで収穫・調理体験をやるから、みんな来てくりよう!!



山下信郎さん (川根本町上長尾)
イベント情報参考 HP
<http://kawanehon-eco.com/>



奥野雅海さん (川根本町上長尾)

サンゴーカントリーとも(び) 栗原春子さん (川根本町地名)

川根特産の自然薯で “とろろ汁&お好み焼き” を作ろう!!



【とろろ汁】
自然薯は皮をむかずに食べるのが、風味を活かすコツ。皮ごとおろし金ですりましょう。自然薯がよくなじみ、さらにネバリがでるように、すり鉢でよくすりましょう (写真上)。
ダシはカツオ節、サバ、ワタリ蟹など様々ですが、今回は川根特産のシイタケを使って味噌汁を作ります。出来上がったとろろ汁はマグロ山かけ、とろろご飯、磯部揚げにして召し上がれ!!



【お好み焼き】
すりおろした自然薯にダシつゆ、玉子、キャベツを混ぜ、鉄板で焼きます。片面を焼いたら、豚バラ肉をのせてひっくり返してさらに焼きます。つなぎはいっさい使わず、自然薯のネバリだけでフワトロのお好み焼きが完成!!

笹山から見る井川湖



いつもは集落から見上げている笹山に登り井川湖を見下ろすとそこには絶景が広がっています。目の前に見えるのに実際には車で1時間もかかる笹山は、南アルプスほど山奥に入るわけでは無いのに、駐車場から少し山に登るだけで井川が美しくも雄大な自然に囲まれている事を感じられます。近くて遠い笹山。徐々に色付く山々は、もうすぐ雪化粧をして冬を連れてきます。

文・写真 遠藤恵弓

ここ知ってる? おススメスポット

-紅葉スポット-



中川根第一小学校の並木道

大井川鐵道・駿河徳山駅から徒歩5分。校庭東側にある並木道に、アメリカカエデやイチョウが真っ黄色に染まります。落ち葉のじゅうたんもフカフカで、子どもたちが嬉しそうに遊んだり、ご近所さんが散歩途中で観賞している姿が見られます。見頃は11月上旬～中旬。小学校の敷地内なので、授業や登下校の邪魔にならないように見学を。徳山集落の散策と合わせて、のどかな里山の秋を満喫してください。

文・神東美希 写真提供・川根本町企画課